



政策提言の進め方について解説する森山教授
＝浜松市中区の浜松市立高

政策提言の発想法学ぶ

浜松市立高
探求学習 来年2月発表へ

浜松市立高(同市中区)でこのほど、市が抱える課題を検討し、対策を考える2年生の探求学習「浜市(はまいち)主権者教育政策提言」が始まった。「浜松市SDGs未来都市計画」をテーマに提言を考える生徒に対し、教育関係者らが提言の仕方や発想法についてアドバイスした。

初回は静岡文化芸術大(同区)文化政策学部の森山一郎教授が政策提言の進め方について解説した。森山教授は理想と現状のギャップを課題と捉え、「若さを生かした自由な発想を心掛けてほしい」と述べた。このほか、市職員がSDGsの重要性や市の取り組み事例を紹介した。

学習は、身近な市政の施策を理解し、地域社会に貢献する市民としての自覚を身に付けるのが目的。生徒は今後、グループごとに提

言を検討し、来年2月の発表を目指す。(浜松総局・足立健太郎)